



2002年 9月期 決算説明資料

伊藤忠食品株式会社

(証券コード2692)
2002年11月22日

1

本資料は、2002年9月期決算の業績および今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。また本資料掲載の事項は、資料作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性および完全性を保証または約束するものではなく、今後予告なしに変更することがあります。
本資料は、2002年11月18日現在のデータに基づき作成しております。

2002年 9月期

決算の状況

2

【連結損益計算書】

	当 期 (百万円)	売上比 (%)	計画比 (%)	前 期 (百万円)	前期比 (%)
売上高	493,259	100.0	99.6	493,200	100.0
売上総利益	46,655	9.5	-	45,863	101.7
営業利益	6,074	1.2	99.4	5,671	107.1
経常利益	6,610	1.3	100.8	6,304	104.9
当期純利益	3,597	0.7	101.3	3,289	109.4

【連結貸借対照表】

	当 期 (百万円)	前 期 (百万円)	前期比 (百万円)
総資本	137,846	146,671	8,824
株主資本	38,547	35,764	+ 2,783

	当 期	前 期	前期比
EPS	276.05円	263.20円	104.9%
DPS	20円	20円	100.0%

3

売上高

物量の増・単価の減(前期比)

	物量	単価
酒類	109.8%	94.6%
食品	98.7%	98.2%

(返品・値引除く、ギフト・冷凍食品を含む、単体ベース)

取引先の選別

新規取引先件数	76件
取引中止先件数	256件
2002.9末時点取引先件数	2,454件

主な取引増減のインパクト

マイカルグループ(99)、壽屋グループ(23)計: 122億円
 静岡メイカン子会社化による連結売上増 + 77億円

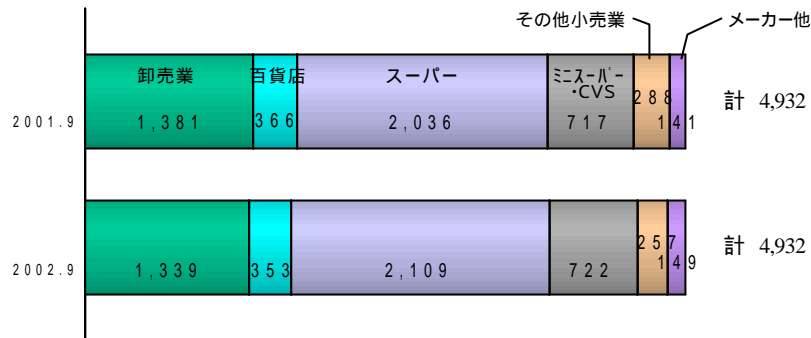
4

売上高



業態別売上高

【売上高推移】（億円）



	卸売業	百貨店	スーパー	ミニスーパー・CVS	その他小売業	メーカー他	合計
増減額（億円）	41	12	72	5	30	7	0
増減率	(3.0%)	(3.4%)	(3.6%)	(0.7%)	(10.7%)	(5.5%)	(0.0%)
当期構成比	(27.2%)	(7.2%)	(42.8%)	(14.6%)	(5.2%)	(3.0%)	(100.0%)

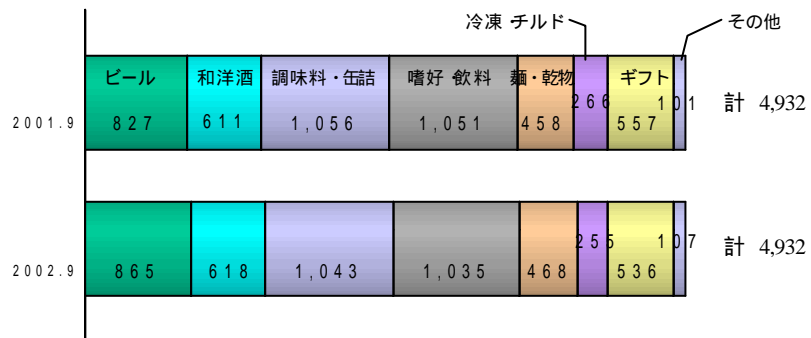
5

売上高



商品別売上高

【売上高推移】（億円）



	ビール	和洋酒	調味料・缶詰	嗜好・飲料	麺・乾物	冷凍・チルド	ギフト	その他	合計
増減額（億円）	38	7	13	16	9	10	20	5	0
増減率	(4.7%)	(1.2%)	(1.3%)	(1.5%)	(2.2%)	(4.1%)	(3.7%)	(5.8%)	(0.0%)
当期構成比	(17.6%)	(12.5%)	(21.1%)	(21.0%)	(9.5%)	(5.2%)	(10.9%)	(2.2%)	(100.0%)

酒類構成比 35.4%（前期 34.6%）

（ビール 17.6、和洋酒 12.5、酒以外 5.3）

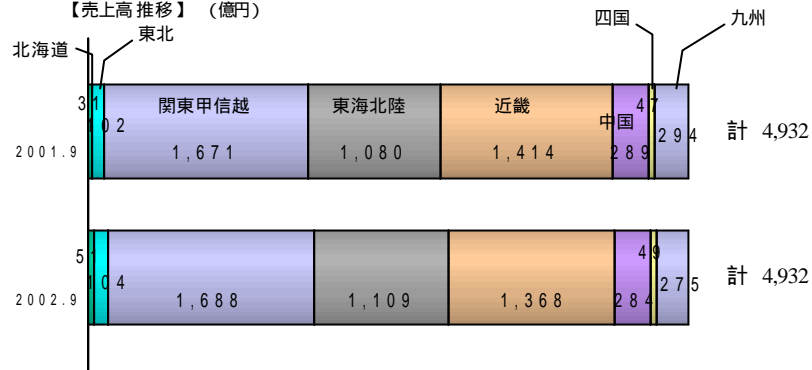
6

売上高

ISC

地域別売上高

【売上高推移】（億円）



	北海道	東北	関東甲信越	東海北陸	近畿	中国	四国	九州	合計
増減額（億円）	20	1	16	29	45	5	2	19	0.0
増減率	(85.0%)	(1.4%)	(1.0%)	(2.7%)	(3.2%)	(1.8%)	(5.5%)	(6.6%)	(0.0%)
当期構成比	(1.1%)	(2.1%)	(34.2%)	(22.5%)	(27.7%)	(5.8%)	(1.0%)	(5.6%)	(100.0%)

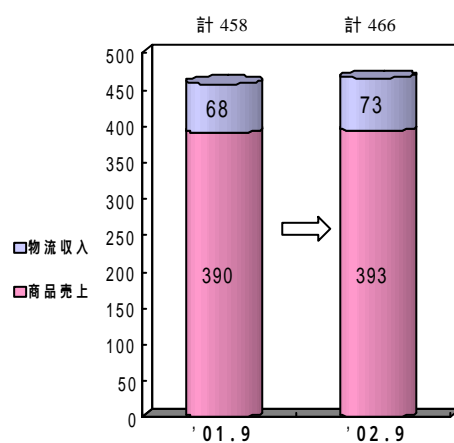
7

売上総利益

ISC

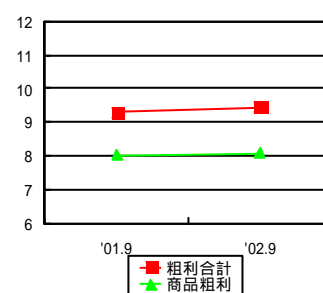
金額の推移

単位：億円



粗利率の推移

単位：%

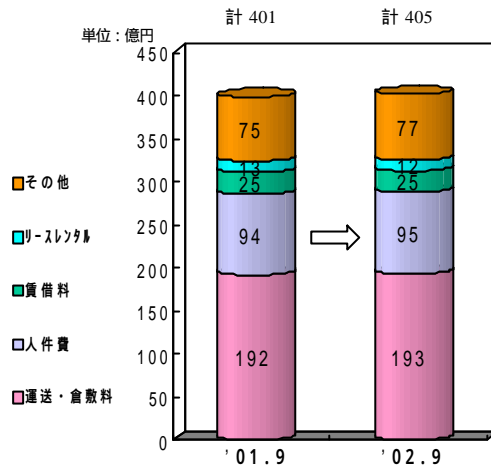


8

販売費及び一般管理費

ISC

販管費の推移



一括物流センターの採算改善効果

物流収入の増、センター運営費の圧縮他

新規一括物流センターの投資

大阪西センター、狭山センター準備、稼動
一過性の販管費 計 2.3 億円

連結子会社の増減インパクト

静岡メイカン子会社化
販管費 + 10.7 億円

(その他)

包装作業費、宣伝販促費の増
ホストコンピュータおよび城東・座間センター他
減価償却費の増
減価償却方法の変更(特殊要因)
前期比 2.6 億円良化

9

営業外、特別損益

ISC

営業外収益

当期 5.8 億円 (前期 7.4 億円、前期比 1.6 億円)

持分法損益 0.0 億円 (前期比 0.4 億円)
受取配当金 1.5 億円 (前期比 0.2 億円)
その他雑収入 1.2 億円 (前期比 1.2 億円)

営業外費用

当期 0.5 億円 (前期 1.1 億円、前期比 0.6 億円)

新株発行費、上場関連費 円 (前期比 0.5 億円)

特別利益

当期 2.0 億円 (前期 2.4 億円、前期比 0.4 億円)

貸倒引当金戻入益 2.0 億円 (前期比 0.2 億円)
投資有価証券売却益 当期 0 円 (前期比 0.1 億円)

特別損失

当期 4.6 億円 (前期 7.4 億円、前期比 2.8 億円)

投資有価証券評価損 1.8 億円 (前期比 +1.1 億円)
金融商品会計
ゴルフ会員権等評価損 当期 0 円 (前期比 1.3 億円)
貸倒引当金繰入 (前期) マイカルG他 0.4 億円 (前期比 2.3 億円)

10

貸借対照表

ISC

2002年9月30日現在

単位：億円

	当 期	前 期	増 減 額
流動資産	916	1,038	121
固定資産	461	428	33
流動負債	963	1,076	112
固定負債	27	30	3
資 本	385	357	27

流動資産

- § 短期運用預金（預け金）の縮小 102.9億円
- § 前期末休日並びにサイト短縮
売上債権の減 61.6億円

固定資産

- § 狭山物流センター土地建物 + 14.1億円
- § 大阪西物流センター投資 + 4.4億円
- § 投資有価証券 + 4.3億円
- § ホストコンピュータ買取 + 4.0億円

流動負債

- § 前期末休日要因
仕入債務の減 122.7億円
- § 法人税の増 + 4.1億円

固定負債

- § 長期借入金の減 20億円

資本

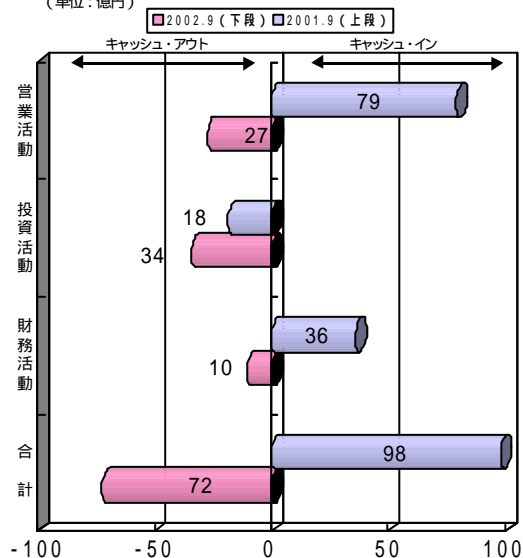
- § 剰余金の増 + 32.4億円
- § 有価証券評価差額 46億円 11

キャッシュ・フロー

ISC

キャッシュ・フローの推移

(単位：億円)



キャッシュ残高

当期末 96億円

【前期末 169億円】

【純減額 72億円】

§ 営業活動によるキャッシュ・フロー

休日要因等による、
売上債権・仕入債務の増減
98億円

§ 投資活動によるキャッシュ・フロー

物流センター、情報システム投資
7億円
投資有価証券取得の増
8億円

§ 財務活動によるキャッシュ・フロー

前期、新株発行による資金調達
51億円

(当期調達額 ゼロ 前期調達額 51億円)

12

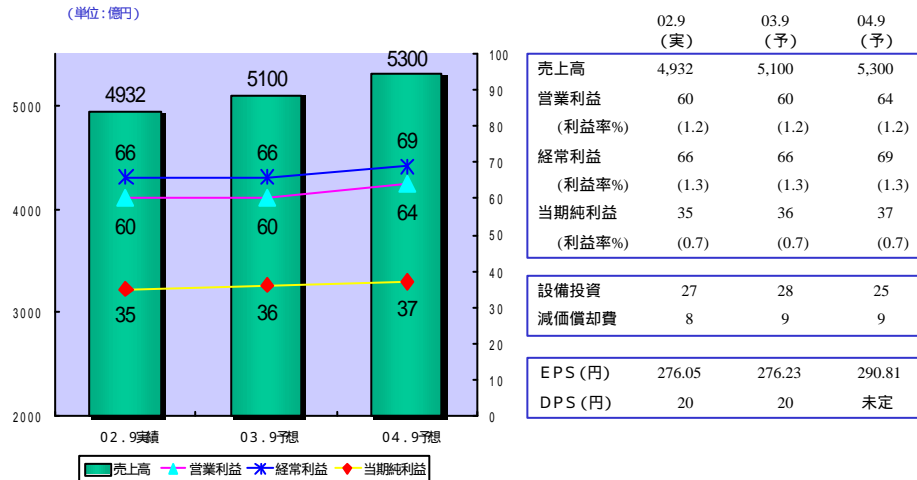
2003年 9月期以降の計画 (中期目標)

13

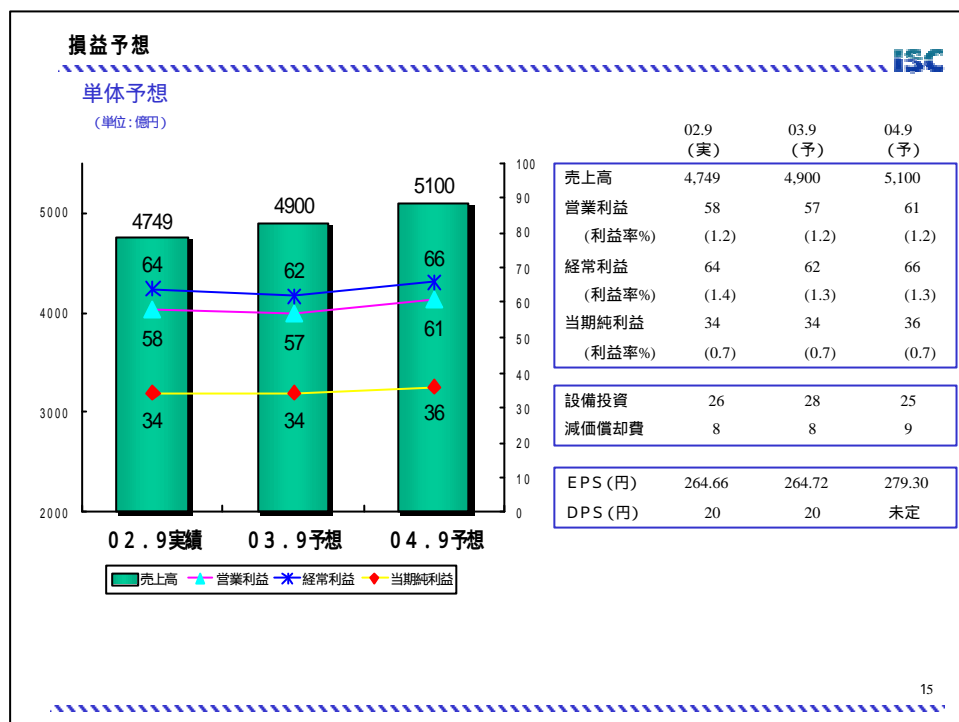
損益予想

連結予想

(単位: 億円)



14



**「食」を通じて消費者と社会に貢献する
リーディングカンパニー**

ISC

伊藤忠食品株式会社

2002年11月22日